

平成30年度 入学式

平成30年4月7日（土）、例年より早く校庭の桜が咲き誇る中、平成30年度山形県立山形西高等学校入学式が挙行されました。過去最も高い倍率を勝ち抜いた201名の新入生が、西高伝統のセーラー服に身を包み、期待に胸を膨らませながら緊張した面持ちで式に臨みました。一人ひとり担任から呼名されると、笑顔で「はい！」と大きく返事をする姿に、初々しさとともに逞しさを感じました。

津田浩校長は、「夢の実現のために主体的に学んでほしい。豊かな人間性の確立のために心を育ててほしい。そして、生涯の友人をつくってほしい。これらのために日々仲間とともに切磋琢磨し充実した高校生活を送ることが嚶鳴精神である。本校を志願して入ってきた責任を果たすことでもある。」と式辞を述べ、嚶鳴後援会長 熊谷誠様、嚶鳴同窓会長 鈴木よし子様そして嚶鳴PTA会長 沼澤孝典様からも、「皆さんは山形の宝物。山西で友と切磋琢磨し光輝け。」「どう生きるかを真剣に考える3年間に。」「二度とない人生だから、志を高く持とう 二度とない青春だから 夢をかたちに变えていこう 二度とない今だから 自分の未来をこの手で創ろう 時代を切り拓くのは、キミたち西高生の使命である。」などと、心温まる励ましをいただきました。

新入生誓詞では、新入生の代表が「自分の未来を切り拓くために、自ら選んで西高に入ってきた。先輩を見習い、嚶鳴精神のもと、社会に貢献できる人間になれるよう、西高生としての誇りと自覚を持って励む。」と力強く誓いました。

式の最後に、西高恒例のそして西高自慢の、音楽部による校歌披露が行われ、美しいハーモニーが会場に響き渡り、入学式が殊更に厳かなものになりました。

その後、各教室でホームルームが行われ、担任のあいさつや日程確認などがあり、緊張のなか新入生も保護者も真剣に話に聞き入っていました。

新入生の3年間の初日がこのようにスタートしました。実り多い高校生活となることを祈念します。

